

2015年2月17日

会員各位

桂川・相模川流域協議会

2014年度 第8回「市民部会」開催のご案内

- 1 日時 2015年3月7日（土曜日）13:00～17:00
- 2 場所 サン・エールさがみはら 2F 第1研修室 A
- 3 議題（案）
 - （1）相模川流砂系総合土砂管理計画（案）の説明会及び意見交換会
時間：13:00～15:00
説明：国土交通省 京浜河川事務所 計画課長 山口正裕氏（予定）
 - （2）市民部会
時間：15:10～17:00
 - ア）前回市民部会（2/7）以降の諸事業の経過報告
 - イ）来年度事業についての意見交換
 - ・アジェンダ専門部会、流域シンポジウムなど
 - ・事業の担当について
 - （3）その他

*会員の皆さまの参加をお待ちしています。
(配布資料準備のため参加希望者は事前連絡頂けると助かります)

問い合わせは、下記までお願いします。

代表幹事 河西 悦子 〒409-0617 大月市猿橋殿上 483-1 (0554-22-6174)
倉橋満知子 〒252-0327 相模原市南区磯部 1956-17 (046-253-5899)

今月の事務担当 相模川湘南地域協議会

連絡先：中門 吉松 携帯 Tel 090-4006-5871

メール naka3kado3yo@jcom.home.ne.jp

4 相模川流砂系総合土砂管理計画（案）の説明会について

相模川・かわづくりのための土砂環境整備検討会（市民委員）氏家 雅仁氏より

1) 昭和20年の相模ダムの完成以降、城山ダムや宮ヶ瀬ダムの建設を経て相模川では、ダムによる土砂流下の遮断が発生しました。また1960年代の東京オリンピック当時には、相模川の河原から大量の土砂が採取され、建設工事に使用されました。

これらの結果、相模川の河原では玉石河原が減退し、樹林化や深掘れが発生し、相模川の河口では、渡り鳥の居場所だった河口干潟が消滅し、相模湾の茅ヶ崎などの砂浜は大きく減退し、土砂環境は大きな影響を受けてきました。

説明会では、相模川の土砂環境がどのように変化してきたのか、巻き起こっている問題点や、その原因について、プロジェクトや資料により、ビジュアルな説明をしていただきます。

そして、相模川の土砂環境を改善するために現在策定中の、相模川流砂系総合土砂管理計画（案）についての説明を受けます。

今後、計画案に対する市民からも意見を聴取するパブリックコメントの実施も予定されていますので、相模川における土砂環境を理解し、河川行政へ市民の意見を届けるために実りある説明会としたいです。

2) 解説

※相模川流砂系総合土砂管理計画とは

国土交通省京浜河川事務所と神奈川県は、平成13年から相模川水系土砂管理懇談会、平成15年から相模川・川づくりのための土砂整備検討会を開催し、学識者、関係する団体、流域市町村、県や国の部署、市民からの委員参加し、土砂環境についての検討を行ってきました。

検討会における議論や、置き砂実験の結果をふまえて、十数年の検討会の結果をまとめ今後の河川行政に反映するために、相模川流砂系総合土砂管理計画の策定が国土交通省京浜河川事務所と神奈川県により進められています。

※流砂系とは

土砂生産域である相模川水系の山・沢から、相模川を経て、河口部そして、相模川からの土砂が砂浜を形成する大磯から江ノ島までの海岸部全体を相模川の流砂系としています。

検討会におけるこれまでの資料や、議論の結果は、以下のHPにて閲覧できます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index057.html

相模川流砂系総合土砂管理計画の骨子案は以下のHPです。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00543.html>

